

速報2号

ただいま!

第28回横浜学童保育研究集会



基調報告

市連協会長 森山 民雄



学童保育に関して国の予算が提示されました。クラブの新設、分割に対応した事業費として昨年を上回る箇所数が計上され36名から70名の児童数のクラブに対しては45人まで、55人までの区分をもうけ、すべてにわたって事業費が増額されています。大規模クラブ、250日未開設のクラブにも現実的な対応として補助が継続されています。

また国の「子ども/子育てビジョン」(仮称)の策定にあたり女性の就労等の潜在的ニーズの把握が必要とされています。

しかし横浜市では潜在ニーズどころか留守家庭児童数すら把握されていないのが現状

です。今後私たちは国のこのよつなな姿勢を背景に運動を強めていく必要があります。少子化対策を最優先とする林市長の誕生は現在のところ市政の転換にはつながっていません。今後も学童保育の改善を促すようより強く訴え、流れをかえていきましよう。

子どもに寄り添っていますか

子育ては信じて待つこと
三輪睦夫先生



残念ながら、まだまだ優しさに欠ける社会だからこそ、私たちひとりひとりが大人として課題を見つけ子どもたちのために、命を大切に、弱いものを大事する優しい社会を作っていくなければ

ならない。

1 子どもをとりまく社会弱者に冷たい政治やますます悪化する仕事、生活環境、効率やスピードのみを優先させるような風潮の社会・・・極端に言えば無法地帯のような環境の中にいる子どもの背景を感じ取って受け止めてやれる大人になろう。

2 子どもの成長の道筋とは

子どもが豊かに育つために「やって欲しくないこと」を5個述べる。

指示・命令、脅迫・脅し、尋問・詰問、自慢・嫌み、侮蔑・侮り

うまくいかなかった時にゆっくり休める「失敗の安心砦」を家庭に、学童保育につけてやろう。

3 大人の役割

「み・は・ほ」の精神・・・「見守る」「励ます」「ほめる」子育ては信じて待つこと。ゆっくり、じっくりが基本。

オープンングセレモニー
子どもたちが
今年も盛り上げてくれました!

平戸台学童保育「あしびな」子どもたちと指導員が頭に紫の布をまき、沖縄民族衣装をまとうて踊ってくれました。かけ声も手を振り上げる様子も息がぴったり!月に3回土日に集まり練習してきたそうです。

はすのみ学童クラブ
創作ダンス「希望」
小さな一年から体の大きな6年まで、大迫力で、いい表情で弾けるように体いっぱい表現してくれました。バザーの時などにも活躍しています。
南永田そよかゼクラブ
ヒップホップダンス

見ている人から自然に手拍子が…。それぞれのダンスをかつこ良く、可愛く、セクシーに(?)踊ってくれました。きれいなウエーブには会場全体驚きのどよめきがおこりました。「たくさん練習した」(一年)

「元気をもらいました」
—三輪先生のお話をうかが
って—



反省しました！泣けてき
ました（学童OB保護者）
今自分が迷っている問題
点のアドバイスになりま
した（東神奈川 保護者）
子どもに会いたくなりま
した（保護者）
子育ては長期的に大らか
な気持ちでいることが大
切だと思いました。学童の
子どもたちは多くのふれ
あいの中で育っている

いうことが実感できまし
た（長津田学童 保護者）
「人間」加湖先生の本を
買いました。でも…難し
くて…三輪先生のように
子どもたちに人間のすば
らしさを伝えられる指導
員になりたいです！（星の
子学童 指導員）
「み・は・ほの精神」が
大事だと思いました。つい
つい忘れてしまっていた
ので振り返ることができ
ました（帷子学童 指導
員）
自分をふりかえる良いき
っかけになりました。一週
間ぐらいいは続くんですが
…（笑）でもとてもよかつ
たです（副実行委員長）
初めて参加したのですが
子どもへの接し方を考え
させられました（星の子学
童 保護者）
今子育て真っ最中な自分
がいかにもドライ（子育てに

乾いていたか）を感じまし
た。もちろん忙しい毎日た
いへんですが、一緒に過ご
す時間が一日5分もない
ように思います。先生が教
えて下さった子どもの声、
とても感心、感動しました
が、我が子もきつとすばら
しい言葉を私になげかけ
てくれているんだらうな
あ、私気がつける耳を持つ
番ですね（港南 保護者）



第5分科会「障がい児保
育について」
本などを読んで勉強して
いますが、わからない部分

編集後記

も多いので講師の先生
に直接きいてみたいで
す（戸塚 指導員）
しっかり学んで保育
に活かしたいと思いま
す！（市ヶ尾ちびっこ
の家指導員）
第9分科会「学童保育
の遊び」スタッフ
学童は遊びの中で育っ
ているということが参
加者で確認できるよう
な会にしたいです

子どもたちの一生懸命な姿にとても感動し
ました。開会行事の勢いを午後の分科会につ
なげていけたらと思います（川端）
貴重な休日にも関わらず、500人を超え
る保護者・指導員が集まって学ぶ姿は美し
ぎます。保護者にとっても居心地のいい学童
となるよう研究集会を通じて感じてほしいで
す（坂井）

午前中の保育で読み聞かせをしていただきました

「学校図書館を考える会・横浜」とは

横浜市には図書館専任の司書のいない学校があります。読み聞かせや図
書室の整備をするボランティアが活動している学校もありますが、常時図
書室にいて資料や情報を集め、整理して手渡す専任の司書が必要です。子
どもたちの「考える力」「調べる力」を育むためにすべての学校への学校
図書館職員の配置を目指して活動を行っています。関心のある方はぜひご
連絡下さい。村島 光子 〒246・0032

横浜市瀬谷区南台2-5-6 電話/fax 045-303-5096